

第10代復興大臣 田中和徳 自民党・国政報告340号

衆議院議員田中和徳事務所
TEL:03-3508-7294
FAX:03-3508-3504
<http://www.tanaka-kazunori.com>
E-mail:k-tanaka@kamome.or.jp



脱炭素社会に向けて、3R+1を推進！

2015年、温室効果ガスの排出量抑制に向けたパリ協定が締結された際、田中和徳は日本議員団の団長としてフランスの国会議場で演説しました。他にも、田中はこれまでに環境副大臣や自民党環境部会長などを歴任し、現在も党環境・温暖化対策調査会顧問、産業資源循環議連会長を務め、温暖化対策やプラスチックごみの削減対策に全力で取り組んでいます。

1. 深刻化する人類が及ぼす地球温暖化と海洋汚染

世界の専門家が集う国連の『気候変動に関する政府間パネル』では、昨年の第6次評価報告書で、下記の内容を明記。

- ① 人類が大気や海洋、陸域を温暖化させてきたことは疑う余地がない
温暖化に伴い、地球各地で極端な高温や大雨が増加している
- ② 人為起源の気候変動は自然と人間に広範囲の悪影響を与えており、
このままでは人間社会と気候システムが適応限界を迎える恐れがある

他にも、毎年800万トン以上のプラスチックが世界中の海洋に流入し、海洋生物の餓死や窒息死、海中汚染物質の生物濃縮を引き起こすなど、廃棄プラスチックによる海洋汚染も深刻な状況となっている。省資源・循環型社会の実現に向けた3R対策の推進が大変重要である。

2. 3R + 1 (Renewable) の概要と重要性

- Reduce** ごみの発生、資源の消費を始めから減らすこと
(例 ごみになる物を作らず、買わない、長持ちする物を使う)
- Reuse** 使った物は一度では捨てず、繰り返し使用すること
(例 リサイクルショップの利用、ビンや容器の洗浄や再利用)
- Recycle** 廃棄物は資源回収し、他の違う製品として再生させること
(例 古紙を原料にトイレットペーパーや段ボールなどを作る)
- Renewable** 製品の原料を再生可能な物質に替えていくこと
(例 レジ袋の素材を自然分解可能な有機素材に変更する)
-

資源消費の抑制、環境負荷の低い素材への転換が3R + 1であり、特に、コストや手間が掛からないリデュースこそが最も重要である。

3. 3R + 1 の推進に向けた政府の主な取り組み

- ① バイオマスプラスチックなど、自然循環可能な素材への転換を支援。
- ② 環境に配慮した製品開発を促すため、ガイドラインを策定。
- ③ 自転車や自動車のシェアリングビジネスに対する支援を強化。
- ④ 家庭や事業者における食品ロスの削減に向けた取り組みを拡充。
- ⑤ プラスチック資源循環に関する基本戦略を策定し、施策を推進。
- ⑥ スマホやデジカメなど、小型家電の回収・再資源化を促進。
- ⑦ 建築物の強靱化・長寿命化を進め、建築廃棄物の発生を抑制。
- ⑧ 今後、寿命を迎えた太陽光パネルが大量発生する事態に備えて、パネルのリサイクルを義務化し、適切な再処理制度を構築。